

ムーディーズがインドの格付見通しを 引き下げ

ポイント① インドの格付見通しを引き下げ

11月7日、世界的な大手格付会社であるムーディーズ・インベスターズ・サービスがインドの格付見通しを引き下げました。格付はBaa2で据え置かれる一方で、その見通しは従来の「安定的」から「ネガティブ」に引き下げられました。理由としては足元の景気減速、財政がやや悪化しつつあること、ノンバンクの金融仲介機能の低下などが挙げられていました。今後6-12カ月で状況が変わらなければBaa3に下がる可能性があると思われます。

ポイント② 大手格付会社の中では高い評価

ただ、これまでムーディーズは他の大手格付会社であるスタンダード&プアーズ（S&P）（BBB-）やフィッチ（BBB-）よりも1ノッチ高めにインドを評価してきました。仮に格下げされても他社と同格になるだけなので、8日の市場では大きな反応は見られませんでした。インドルピー（対円）は前日比で0.5%ほど下落、株式市場も前日の史上最高値から0.8%ほど下落と、小幅な下げでした。また、ルピー建て国債の利回りとドル建てインド債のスプレッドは大きく変動しませんでした。

ポイント③ 景気刺激スタンス堅持を予想

今週13日、10月の消費者物価指数が発表されます。市場予想の平均は前年比で+4.3%と、8月+3.3%、9月+4.0%から加速すると見られています。モンスーン期初期の降雨量が少なかったため野菜類など食品価格の上昇が続いているようです。ただ、コアの物価は安定していることと、降雨量の回復が徐々に食品価格に反映されると見ているので、12月5日の金融政策決定会合では、引き続き、景気刺激スタンスが堅持され、利下げが見送られることはないと考えています。

図1：大手格付会社によるインドの格付

時点：2019年11月7日現在

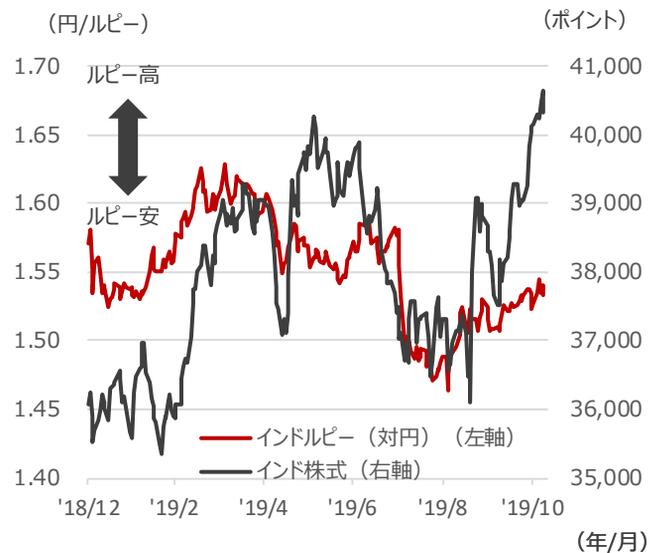
	ムーディーズ	S & P	フィッチ
長期格付	Baa2	BBB-	BBB-
見通し	ネガティブ	安定的	安定的

(注) 長期格付：自国通貨建て長期債務格付を参照

(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

図2：インドルピーとインド株式の推移

期間：2018年12月31日～2019年11月8日、日次



(注) インド株式：S&P/BSE SENSEX指数

(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。